
ある女子中学生の恋愛考察。

imaiwa

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある女子中学生の恋愛考察。

【Nコード】

N7589K

【作者名】

i m a i w a

【あらすじ】

恋愛について中学生が悩む。

(前書き)

なんとなく書いてしまいました。

「蒔田、好きやねん」

私の耳元で囁いた早苗。

同じ中学二年の男子、蒔田進！？

「ええ、うそ！」

思わず大声で言ってしまった。

予想だにしていなかった私の驚きように、

「声でかいつて！」

人差し指立てて、私の口封じにかかる。

そして、顔を朱色に染めて照れ臭そうに私を見る。

この大人しく子供っぽい早苗が恋愛に手染めはじめなんて。

まだ、男に興味を抱いた事のない私は、早苗が唐突に大人びて映る。

「誰にもはなさんといてや！」

「う、うん」

空白となった思考の中でやっと生返事をした。

私に告白しただけで、なんだか嬉しそうで弾むように歩いていた。照れ臭いんだろうけど、終始様々な話題を振ってくる。

取り留めのない話を散乱させ、一時でも私の思考からそれを外そうと必死だ。

「じゃあなー」

「またー」

帰り道が分かれ、私は一人横断歩道を渡りその先の坂を降りていった。

しばし俯き加減で早苗の事を考えていた。

そして、女について考える。

同じ女でありながら、異性に目覚めた彼女と自分の違いを考える。

私と彼女の間には太い境界線が引かれている事に気づく。

「おかえりー」

「ただいま……」

私は母に適当に返すと、一目散に階段を上り二階の自分の部屋へ籠った。

ベッドに仰向けに寝転がり、白い幾何学模様が施された天井を見ていた。

焦点をわざとぼかす事に集中して考えを一時凍結させようとした。だが、それも長くは続かない。

目が痛くなってきたすぐにやめた。

そして、なんとなしに机の引き出しをあけた。

そこに小さな紙切れが入っている。

数字が羅列されている。

蒔田の携帯の番号だ。

実は私は蒔田に1週間前に告白されていた。

しかし、彼の告白で私の中の女は身動き一つしなかった。

蒔田がただの男友達以上に見えなかつた。

いや、私が女として未熟なために、恋愛としてそれを捉えられなかつたのである。

驚きはしたが、しばらく経つと断る言葉を探していた。

だが、見つからなかった。

私が黙っていると、蒔田は微笑みを満面に浮かべて言った。

「まあ、日曜日、取りあえず○×の映画見に行かない？」

「え、まあ、いいけど」

見たかつた映画だったので、なんとなくOKを出してしまった。

はあ、どうしよう……

今日の早苗の告白を思い出し、気分はいつまでも晴れることはなかった。

できるなら、変わってあげたい。

蒔田さえよければ、熨斗をつけて早苗に渡したい。
そんなわけにもいかないのが、人間か。女か。

(後書き)

意味はない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7589k/>

ある女子中学生の恋愛考察。

2010年10月16日19時11分発行